

## 秋季文化祭

市内5カ所で秋季文化祭が行われました。各地で開かれた文化祭の様子を紹介します。



### 星の村文化まつり（滝根町）

10月28、29日の両日、天地人大学などで開かれました。文化協会の団体や子どもたち、企業などの作品展示販売のほか滝根保育所、滝根幼稚園児の遊戯、滝根中学校特設合唱部、あぶくま太鼓紅組の太鼓の演奏や各種団体の芸能発表などが行われました。



### 大越町文化祭

10月28、29日の両日、大越行政局などで創作展示・芸能発表が開かれ、抹茶やミニ四駆、ホールクroppへのお絵かきなどの体験、屋外ステージでのカラオケや民謡、民舞、AKB48などのダンスが大勢の来場者に披露されました。



### 都路町文化祭

11月3、4日の両日、古道体育館で開かれました。都路こども園、都路小学校や都路中学校の児童・生徒、各種団体などの作品、創意工夫作品の展示のほか、木工キット（大型イス）組み立てコーナーなどが催され、大勢の来場者でにぎわいました。



### 常葉町文化祭

10月28、29日の両日、常葉公民館などで開かれました。展示コーナーでは、文化協会をはじめ、児童・生徒・園児、老人クラブや各種団体が力作を出品。チャリティーバザー、中野区緑化業協会の花苗無料配布やビンゴ大会で盛り上がりました。



### 船引地区文化祭

10月28、29日の両日、市文化センターで、各種作品等展示会やそばまつり、ステージイベントなどが開催され、多くの来場者でにぎわいました。開催期間限定で文化センター展望室を一般開放し、来場者が船引町の景色を楽しみました。



## 五十人石伝説実証会

10月29日、田村市都路町と葛尾村にまたがる五十人山山頂で、巨石「五十人石」に50人が上れるかどうかの伝説実証会が開催されました。この実証会は、都路小学校児童の「五十人山の名前の由来は本当なのか？」という疑問に答えるため、五十人山周辺の住民の方が協力し開催されました。当日は、坂上田村麻呂と50人の兵士が戦略を練ったとされる五十人石に55人の参加者が上り、「伝説は本当である」ことが実証されました。市長、葛尾村長から代表者2人に認定証が手渡されました。



## 大越町商工会「商工祭」

10月29日、大越行政局で、大越町商工会主催の商工祭が4年ぶりに開催されました。今回の商工祭は田村市大越町文化祭と同日開催。ステージイベントでは大越町の文化団体の皆さんにも多数ご出演いただき、イベントに花を添えていただきました。当日は天候にも恵まれ、田村警察署、航空自衛隊大滝根分屯基地にご協力いただき、車両展示や試乗体験、大越町商工会工業部会・建築部会による巣箱作りの木工体験、大越町商工会女性部を中心に地元の会員、8事業所にご出店をいただき盛大に開催されました。



## 川口市市産品フェア

10月27日～29日、埼玉県川口市で開かれた「川口市市産品フェア2023」に滝根観光振興公社と共に出店しました。田村市と川口市の交流は旧滝根町時代から続くもので、会場では、観光パンフレットを配布して田村市の観光をPRしたほか、天然水やジュース、エゴマ関連商品などを販売しました。またファミリー連れを中心にあぶくま洞入洞仮想現実（VR）体験を実施し、大盛況となりました。開会式では、市長が市産品フェアのさらなる発展と両市の友好の絆がさらに深まること、昆虫を通じた交流についてあいさつしました。




## なかの東北絆まつり

10月28日～29日、東京都中野区で開かれた東北地方の復興応援を目的に各地の観光やグルメの魅力を発信する「2023 なかの東北絆まつり」に参加しました。会場では、田村市の観光コンテンツや各種製品のPRを実施したほか、田村市産のクラフトビールも販売。秋深まる中、詰めかけた来場者は田村の味に舌鼓を打っていました。本市と中野区は、旧常葉町に「中野区少年自然の家」を開設いただいたことがご縁で、昭和57年に姉妹都市を締結し、平成17年の町村合併による田村市発足以降も相互交流を進めています。



## 手話通訳でやさしい日本語

10月23日、市役所で、やさしい日本語セミナー（福島県国際交流協会主催）が行われ、市登録手話通訳者の皆さんが参加しました。インターカルト日本語学校の佐藤美華さんから、普段使っている日本語を外国人や子ども、障がいを持った方にも分かりやすい言葉に言い換えた「やさしい日本語」のポイントを学びました。手話通訳では、固有の意味がある手話表現がない場合、言葉を組み合わせる相手に伝えます。参加者は、伝わりやすい言葉に言い換えるコツを熱心に学んでいました。詳細はこちら▶ 



## アソベンチャークラブ

10月22日、文化の館ときわで33人が参加し「木工教室」が開催されました。田村森林組合職員の方を講師に迎え、森林文化の保全の大切さを学んだ後、ウッドクロック（壁掛け時計）を製作しました。それぞれ個性あふれる「世界に一つだけの時計」を作った子どもたちは、「木工教室」を通じてものづくりの楽しさを感じていました。また、作品は常葉町文化祭に展示しました。



## 秋穫祭

10月28日、大越行政局で、大越まちづくり協議会主催の「秋穫祭」が4年ぶりに開催されました。オープニングでは、大越こども園の園児が「よさこい」を披露しました。千本きねでついた餅を「きな粉餅」にして来場者に振る舞い、来場者はつきたての餅に舌鼓を打ちました。メインイベントでは、来場者によるじゃんけん大会を開催。子どもと大人の部に分かれ、白熱したじゃんけんバトルが繰り広げられました。また、文化祭の展示と同時開催となったことから、会場には多くの方が来場し、楽しいひとときを過ごしました。



## 田村市選抜野球チーム 野球交流事業

10月28日、常葉運動場で、田村市野球協会、田村市選抜野球チームによる「田村市選抜野球チーム 野球交流事業」が行われました。野球を通じて年代を超えた交流と田村地方の野球レベルの向上を図り、「野球、スポーツが楽しい」ということを子どもたちに伝える機会を設けたいという願いで開催されました。市内外の中学生約80人が参加し、世代を超えて野球を楽しみました。